

2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月29日

上場会社名 エスピー食品株式会社

上場取引所

東

コード番号 2805 URL <https://www.sbfoods.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 博行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理サポートグループ担当 兼 経理管理室長 (氏名) 山崎 崇弘

TEL 03-3668-0551

四半期報告書提出予定日 2021年11月10日

配当支払開始予定日

2021年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	59,863	3.2	5,034	16.5	5,032	15.2	3,566	16.6
2021年3月期第2四半期	58,019	0.4	6,026	46.0	5,935	48.7	4,276	12.4

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 3,795百万円 (24.9%) 2021年3月期第2四半期 5,050百万円 (41.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	280.80	—
2021年3月期第2四半期	336.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	132,533	58,627	44.2
2021年3月期	125,410	55,137	44.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 58,627百万円 2021年3月期 55,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	22.00	—	24.00	46.00
2022年3月期	—	25.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	116,000	1.5	8,200	13.2	8,100	13.7	5,700	14.3
								448.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	13,954,234 株	2021年3月期	13,954,234 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	1,254,087 株	2021年3月期	1,254,044 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	12,700,172 株	2021年3月期2Q	12,700,316 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けたワクチン接種等の対策が講じられているものの、緊急事態宣言等の発出が継続するなど、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による外出機会の減少を含めた経済活動の制限等を背景として外食需要が低迷する一方、内食需要が高い水準で推移するなど、消費行動や市場構造に変化が生じており、先行きへの不安によるお客様の節約志向などと併せ、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のなかで、当社及び連結子会社は、企業理念・ビジョンのもと、昨年 4 月より開始いたしました第 2 次中期経営計画に基づき、「地の恵み スパイス&ハーブ」を核とした事業活動を推進するとともに、社会環境の変化やお客様のニーズの多様化への対応に全社一体となって取り組んでまいりました。

また、新型コロナウイルス感染症の対策本部を中心に、感染予防・感染拡大防止に向け対策を徹底し、従業員の安全確保を最優先とした対応を進めますとともに、生産・物流の現場におきましては、衛生管理と感染リスクの対策を徹底の上、継続して製品の安定的な生産・供給に努めてまいりました。

以上の結果、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は、食料品事業において内食需要が引き続き高い水準で推移したことなどから、家庭用製品を中心にインスタント食品その他グループや、香辛調味料グループが伸長し、前年同期比 18 億 44 百万円増の 598 億 63 百万円（前年同期比 3.2% 増）となりました。利益面では、売上原価率の上昇に加え、プロモーション活動や販売活動が回復したことに伴う販売活動費用が増加いたしましたことから、営業利益は前年同期比 9 億 92 百万円減の 50 億 34 百万円（同 16.5% 減）、経常利益は前年同期比 9 億 2 百万円減の 50 億 32 百万円（同 15.2% 減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比 7 億 10 百万円減の 35 億 66 百万円（同 16.6% 減）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載しております。

セグメント及び製品区分別の連結売上高の詳細につきましては、10 ページ「3. 補足情報」をご参照ください。

(1) 食料品事業

売上高は、前年同期比 19 億 85 百万円増の 527 億 14 百万円（同 3.9% 増）となりました。セグメント利益（営業利益）は前年同期比 11 億 36 百万円減の 44 億 48 百万円（同 20.4% 減）となりました。

(2) 調理済食品

売上高は、前年同期比 1 億 41 百万円減の 71 億 48 百万円（同 1.9% 減）となりました。セグメント利益（営業利益）は前年同期比 1 億 43 百万円増の 5 億 64 百万円（同 34.3% 増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第 2 四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して 71 億 23 百万円増加し、1,325 億 33 百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加 30 億 85 百万円、売上債権の増加 33 億 72 百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して 36 億 33 百万円増加し、739 億 6 百万円となりました。これは主に、借入金の増加 46 億 54 百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して 34 億 90 百万円増加し、586 億 27 百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加 32 億 61 百万円などがあったことによるものであります。この結果、自己資本比率は 44.2% となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通りに推移いたしましたことから、2021 年 5 月 13 日に発表いたしました 2022 年 3 月期通期の連結業績予想につきまして、変更を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,591	29,677
受取手形、売掛金及び契約資産	25,704	29,076
商品及び製品	9,786	8,854
仕掛品	2,541	2,553
原材料及び貯蔵品	6,482	7,060
その他	683	658
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	71,790	77,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,708	17,977
機械装置及び運搬具（純額）	10,505	11,360
土地	9,591	8,605
その他（純額）	3,092	2,960
有形固定資産合計	40,899	40,903
無形固定資産	854	803
投資その他の資産		
投資有価証券	7,344	7,603
退職給付に係る資産	32	58
その他	5,618	6,393
貸倒引当金	△1,129	△1,109
投資その他の資産合計	11,866	12,945
固定資産合計	53,619	54,652
資産合計	125,410	132,533

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,289	11,760
短期借入金	17,160	23,258
未払金	10,802	10,690
未払法人税等	1,770	1,358
賞与引当金	1,372	1,422
資産除去債務	1	—
その他	2,414	2,493
流動負債合計	45,810	50,983
固定負債		
長期借入金	16,752	15,309
退職給付に係る負債	5,935	5,903
資産除去債務	118	120
その他	1,656	1,588
固定負債合計	24,462	22,922
負債合計	70,273	73,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,337	5,337
利益剰余金	47,776	51,038
自己株式	△2,932	△2,932
株主資本合計	51,925	55,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,575	2,764
土地再評価差額金	862	862
為替換算調整勘定	16	25
退職給付に係る調整累計額	△243	△212
その他の包括利益累計額合計	3,211	3,439
純資産合計	55,137	58,627
負債純資産合計	125,410	132,533

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	58,019	59,863
売上原価	41,128	43,239
売上総利益	16,890	16,623
販売費及び一般管理費	10,864	11,589
営業利益	6,026	5,034
営業外収益		
受取利息	4	8
受取配当金	102	107
不動産賃貸料	20	21
為替差益	—	9
その他	82	99
営業外収益合計	211	246
営業外費用		
支払利息	242	245
為替差損	29	—
その他	30	2
営業外費用合計	302	247
経常利益	5,935	5,032
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	172	—
受取補償金	99	—
補助金収入	—	30
その他	36	6
特別利益合計	307	36
特別損失		
固定資産売却損	—	55
固定資産除却損	194	18
製品回収関連費用	—	44
その他	20	16
特別損失合計	214	135
税金等調整前四半期純利益	6,028	4,934
法人税、住民税及び事業税	1,712	1,305
法人税等調整額	38	62
法人税等合計	1,751	1,367
四半期純利益	4,276	3,566
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,276	3,566

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益	4,276	3,566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	762	188
為替換算調整勘定	△19	9
退職給付に係る調整額	31	30
その他の包括利益合計	774	228
四半期包括利益	5,050	3,795
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,050	3,795
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,028	4,934
減価償却費	2,327	2,203
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	138	△19
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15	50
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△172	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△52	△14
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	43	2
受取利息及び受取配当金	△107	△116
支払利息	242	245
固定資産売却損益 (△は益)	△0	53
固定資産除却損	194	18
製品回収関連費用	—	44
補助金収入	—	△30
売上債権の増減額 (△は増加)	△741	△3,372
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,977	342
その他の資産の増減額 (△は増加)	717	280
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,246	△529
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,197	△51
その他	41	△7
小計	5,746	4,032
利息及び配当金の受取額	107	116
利息の支払額	△248	△253
法人税等の支払額	△1,447	△1,707
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,157	2,187
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△21	△20
定期預金の払戻による収入	15	1,017
有形固定資産の取得による支出	△4,380	△3,224
有形固定資産の売却による収入	0	7
無形固定資産の取得による支出	△106	△167
長期貸付けによる支出	△202	—
補助金の受取額	—	30
その他	△174	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,868	△2,363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,690	5,680
長期借入れによる収入	1,180	550
長期借入金の返済による支出	△2,097	△1,575
配当金の支払額	△279	△304
その他	△134	△100
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,357	4,249
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,619	4,082
現金及び現金同等物の期首残高	22,025	25,563
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	67	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,712	29,646

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下、「時価算定会計基準」といいます。)等を第1四半期連結会計期間の期首より適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
一時点で移転される財	50,728	7,290	58,019	—	58,019
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	50,728	7,290	58,019	—	58,019
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	50,728	7,290	58,019	—	58,019
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	50,728	7,290	58,019	—	58,019
セグメント利益	5,585	420	6,005	20	6,026

(注) 1. セグメント利益の調整額20百万円は、セグメント間取引消去20百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
一時点で移転される財	52,714	7,148	59,863	—	59,863
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	52,714	7,148	59,863	—	59,863
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	52,714	7,148	59,863	—	59,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	52,714	7,148	59,863	—	59,863
セグメント利益	4,448	564	5,012	21	5,034

(注) 1. セグメント利益の調整額21百万円は、セグメント間取引消去21百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

セグメント及び製品区分別連結売上高

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント及び製品区分別の連結売上高は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント及び製品区分	前第2四半期 (累計)	当第2四半期 (累計)	増減額	増減の主な要因
食料品事業	50,728	52,714	1,985	
スパイス&ハーブ	15,027	15,461	433	業務用香辛料 (増加)
即席	15,478	15,759	280	即席カレー (増加)
香辛調味料	21,266	22,378	1,112	チューブ製品 (増加)
インスタント食品その他	13,200	14,462	1,261	レトルトカレー (増加)
売上控除	△14,243	△15,346	△1,102	売上増加に伴う売上控除の増加 (減少)
調理済食品	7,290	7,148	△141	調理麺 (減少)
計	58,019	59,863	1,844	